れんめい和歌山

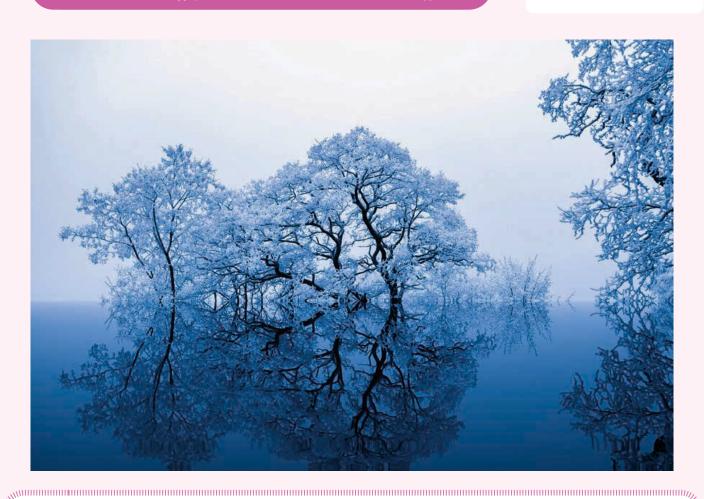
=コロナ禍における連盟活動=

第66号

発行者

和歌山県看護連盟和歌山市太田4-11-18 リベラルパレス太田 501 電話 073-488-6575 073-488-6580

> 発行責任者 石橋 降子





	機関紙「れんめい和歌山」第 66 号発刊に寄せて
2021 · 2 CONTENTS	和歌山県看護連盟 会長 石橋 隆子 … 2
	「令和3年 新年を迎えて」 和歌山県看護協会 会長 東 直子… 3
	「ごあいさつ」 自由民主党和歌山県支部連合会 政調会長 藤山 将材 … 4
カンタレンコ	研修会報告
	「たかがい恵美子議員との意見交換会」に参加して
	和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修会
	2020 年度日本看護連盟通常総会にリモート参加して7
	和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修会
	「選挙とコンプライアンス」― 西城嘉子先生の講演を受講して ― 8
	青年部活動報告
	青年部特集 「スポット紹介」
	連盟からのお知らせ・編集後記 他



機関紙「れんめい和歌山」第66号発刊に寄せて

和歌山県看護連盟 会長 石橋 降子

「冬至りなば 春遠からじ」

丑年の新年も早2月を迎えています。世の中は新型コロナ感染症に対する対応について東京都をはじめ大都市での対応に日々国としての検討が続いています。幸い、和歌山県は爆発的発生を見ることなく過ぎていますが油断は禁物、基本的対策に加えて免疫力をつけ普段の健康に気を付けたいものです。

さて、和歌山県看護連盟活動ですが会議はじめ研修会すべてがリモート中心に開催しなければならなくなり、より効果を出すためにはさらに工夫が必要になります。特に看護の現場からの情報を頂く為に、役員はじめ各支部長の施設訪問が難しく、容易にできなくなります。面接とリモートの組み合わせの他、電話はじめメールやラインの活用が必要になります。

しかし、ここで看護専門職としての感染防止に関しての工夫が問われるところでしょう。各職場に合わせた工夫等、皆様のご意見を頂きたいところです。各職場の現状を多くの人々に伝え、問題解決のための政策に繋げていくために地方議員はじめ国会議員に伝えることが連盟活動として重要課題です。今年度は和歌山県看護連盟として、自民党和歌山県支部連合会の幹事長はじめ県会議員との話し合いの場を持ち直接現場の声を伝える活動を始めています。また、高階恵美子参議院議員には直接来和、またはリモートで会議に参加していただきます。

今年度は新型コロナ感染症に関しての話題が中心ですがさらにこの活動を広め、看護協会の 提案する重点事業の達成に向け、連盟としての役割を果たしていくため努力していきます。

看護協会員の連盟加入と賛助会員・学生会員増の為に頑張りましょう。 皆様のご協力お願い致します。







令和3年 新年を迎えて



公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 東 直子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、看護協会事業に対し、ご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症は、これまで経験したことのない世界的な蔓延状況にあり、医療や経済、生活等に大きな影響をおよぼしています。新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、医療現場の最前線で懸命に対応してくださっている看護職、介護施設、行政始め医療関係者の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

和歌山県看護協会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて研修中止、受講者の制限、 Web での開催等の新たな生活様式の中で事業を推進しております。

さて、我が国は 2025 年問題、認知症患者の増加、社会保障の変化など課題が多くなってきています。さらに 2040 年問題を見据えた社会の動きや政策動向を学び、私達が果たす役割を認識し、活動することが強く求められています。高度先進医療・終末期医療など病院医療をはじめとする地域医療さらに保健・福祉においても、看護職が果たす役割もますます増大し、県民の期待も大きいと思われます。

このような状況の中、看護職能団体である和歌山県看護協会は、看護の役割を認識し、行政はじめ関係団体と連携を図りながら取り組んでまいります。

今年も、和歌山県看護協会の使命である、①教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質向上を図る ②看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進 ③人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を念頭に置き、皆様と共に看護の役割を発揮していきたいと考えております。皆様のより一層のご支援ご協力をお願いいたします。

コロナ禍で、看護の分野が抱える多くの課題に対応していくためには、看護連盟と看護協会の二つの組織が連携・協働することが大切です。さらに会員増を目指し組織強化に繋げていきたいと思っております。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げて新年のご挨拶といたします。



ごあいさつ



自由民主党和歌山県支部連合会 政調会長 藤山 将材

輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は新年早々、アメリカがイランの司令官を殺害、その報復にイランが米軍基地へのミサイル攻撃を行い、一時は戦争になるのではと世界に緊張が走りました。

その戦争の危機が回避されたのも束の間、「新型コロナウイルス感染症」のパンデミックは、 私達の暮らしに極めて大きな影響を与え、人類が新型コロナに翻弄された正に激動の年となり ました。

これまで新型コロナでお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々にお見舞いを申し上げます。

また、それぞれの現場でエッセンシャルワーカーとして社会を支えて下さっている方々、そして、そのご家族にも感謝を申し上げます。

社会全体が想像もしなかった事態に直面し、今後の成長戦略も不透明な中、暗中模索が続きます。

しかし、明けない夜はありません。

新型コロナ感染症予防と社会経済活動を両立しつつ、コロナ後を見据えた準備をしておくことも肝要です。

今年は、和歌山では初開催となる「紀の国わかやま文化祭」や「全国高等学校総合文化祭」 といったビッグイベントも予定されており、反転攻勢の年となることを願ってやみません。

本年も主権者に尽くす議員として、県勢浮揚に努めてまいりますので、引き続き、ご指導ご 鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとって、より良い年になりますようお祈り申し上げ、新春のご挨拶といたします。











「たかがい恵美子議員との意見交換会」に参加して

和歌山県看護連盟 田辺支部担当 笹山 貴美子

10月12日台風が去り、晴天に恵まれた日、自由民主党和歌山県連にて、たかがい恵美子議員との意見交換会が活発に行われた。

看護連盟石橋隆子会長、自民党県議連山下直 也幹事長より挨拶があり、谷眞子前和歌山県連 盟会長、看護を考える会山田正彦議員も駆けつ けて頂いた。

たかがい議員より、選挙活動を始めた 10 年前のエピソード(演説で喉が腫れ薬を飲んだらボーッとして降りるべき駅を乗り過ごしたこと)を思い出として話された。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行で命 の最前線を守って頂いてと労いがあった。与党に なって7年半、厚生労働大臣政務官の時は、年金 情報流出問題があり、これをきっかけに国内のサ イバーテロ対策ができた。また、厚生労働副大臣 の時は、統計情報不適切取り扱い問題(雇用保 険・失業保険など)があり、広報や連盟の会報な どで伝えた。新型コロナウイルス対策では、一番 に労災の適応。次に、慰労金の給付。慰労金の不 公平感は、都道府県の裁量で補填。包括支援給付 金・臨時交付金 (総務省)等の支援。国は、普段 の予算の3年分を投じ国民のため、必死で運営 している。また、医療系学生は、感染がピークと なり例年の学生生活とは異なっている。卒業でき 国試が受けられ就職できるが基本。技術不足の 不安払拭のため卒後研修もできるように予算を 考えている。PCR検査は、10万件できるように なった。受けたいときに受けられる検査にして いきたい。今後も、一つ一つ粘り強く知恵を出し、 意見を交換し仲間と検討していくと述べられた。

【各支部からの質問】

医療職三表・訪問看護師の保障・日本看護協会と日本精神科看護協会が、なぜ連携がとれていないのか・医療施設と介護施設の格差・資格を持たない補助職員の給料が安い・当初 PCR検査はなぜできなかったのか等、それぞれの思いが堰を切ったように出された。たかがい議員は、一つ一つ丁寧に意見を返して下さった。

また、「テーマを出し和歌山県看護連盟として作戦を練る場を設けては?」との提案あり。党員については、ローカルルールとして500円というところもあるので和歌山県看護連盟のルールを作ってはどうか。給料については、働く者が自分の技術に見合う報酬が得られるような働きかけをどうするか。感情論ではいけない。自分の技術で年間いくら収益をもたらすか、で給料がきまる。この時代、如何に健全に生活が送れるか、問題解決のためにどうするか、いろんな知恵を出して粘り強く具体的行動を出すように和歌山県看護連盟で検討会を持ってはどうかと対策案を頂いた。また、いつでも参加の意向もいただき今回の意見交換会は終了となった。





和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修会

和歌山県看護連盟 委員会委員 前垣内 真由美









さる 10 月 25 日、和歌山県看護協会・看護連盟の合同研修会が開催されました。講師の先生は、和歌山県看護連盟副会長の福寿和美さんでした。テーマは「看護連盟活動におけるリーダーの役割および支部活動を活性化するための秘策」で、参加者は 66 名でした。

先生は看護協会や看護連盟ができた歴史について話され、当時の看護師の待遇・連盟と政治との関係についてわかりやすく説明してくれました。なかでも1960年代の夜勤手当が何回しても¥100/月だった時代から、1990年には夜勤手当が¥3200になったことや、2014年2月24日の第3回看護師国家試験日、大雪で交通機関が麻痺し、看護師国家試験を受験できなかった学生達のため、看護連盟が推薦した国会議員達が一丸となり、厚生労働省などの関係機関と話し合いを持ち、3月19日に再受験が実施され、追加試験で497人が合格した経緯を教えてくれました。

看護協会と看護連盟の違いとして、看護協会は具体的な政策を提言し、看護連盟はその提言を実現するために政治活動を行う団体になります。看護連盟は政治の場に代表を送り、現場の声を生かした政策実現を支援しています。例えば、「新型コロナ感染症に対する慰労金・夜勤看護手当の大幅増額・看護専修学校卒業者の大学編入・看護職を増やすための法案」など。私たち看護職の働く環境の向上、看護の質向上などに取り組んでいます。このことは、看護職の国会議員がいたからこそ実現できたものです。

現在、看護連盟が推薦した国会議員は4名います(衆議院議員:あべ俊子・木村やよい、参議院議員:たかがい恵美子・石田まさひろ)。先生たちが国会で発言するには、当選した時の投票数で決まると言われています。投票数が多いということは、支持者がたくさんいると評価され、意見が通りやすくなり、国会での政治力強化につながっています。このように「看護協会の目標達成」のため、政治活動を行う組織が「看護連盟」であるということを学んだ研修会でした。



2020 年度日本看護連盟通常総会に リモート参加して

和歌山県看護連盟 副会長 福寿 和美

日本看護連盟通常総会が11月30日(月)にザ・プリンスパークタワー東京で開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い11月30日まで延期となりました。総会が近づいてもコロナの感染拡大が落ちつかず、全国一斉にリモート併用の総会になりました。

私も和歌山看護連盟事務所で他の代議員 4 名と一緒 にリモート参加しました。

総会には、代議員 483 名 (内訳:会場 47名・リモート参加 294 名・委任状 233 名)、役員 16名 (会場に 14名・リモート参加 2名) でした。

大島敏子看護連盟会長の挨拶ののち、来賓祝辞は、 福井トシ子看護協会長の挨拶に始まり、自民党総裁・ 厚生労働大臣・文部科学大臣はビデオでの挨拶でした。 プログラムは例年通りとあまり変わりなく行われまし たが、審議事項のない報告会だけの総会になりました。

当初、リモートでの総会は孤立し、疎外感を抱くイメージが強くありました。また、一瞬音が途切れたり、





エコーがかかったりして聞き取りにくい場面もありましたが、チャット形式ですぐに修正されたのは、 よかったと思います。

去年までは私も会場に行って、その場の雰囲気を肌で直接感じていましたが、今回のリモート形式の参加でも、ソーシャルディスタンスを配慮した集合会場全体を映してくれたことで、その場にいる一体感ができ、参加者意識が高まりました。

日本は南北に長い国のためかなりの時間をかけて会場に行く人も多いと思います。今回のようにリモート参加することで時間の余裕もでき、今後の生活・仕事のスタイルの幅が広がる可能性も感じました。

日本看護連盟も「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」という、新しいスローガンのもと連盟の さらなる活動を強化していく心意気を感じました。



和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修会 「選挙とコンプライアンス」

一 西城嘉子先生の講演を受講して 一

日時:2021年1月17日(日)

和歌山県看護連盟新宮・串本支部担当

 $13:30 \sim 15:00$

佃 瑞穂

場所:和歌山県看護協会 看護研修センター

県内でも新型コロナウィルス感染者数が増加する中、万全の対策をとった研修会場と各施設からウェブで参加された方々と共に、日本看護連盟前副会長 西城嘉子先生による講義「選挙とコンプライアンス」を受講させていただきました。

講義の中で、西城先生は、私たちが働いている現場で起こっている様々な看護の課題を解決していくのは自分たちであり、そのためには現場の声を看護協会・看護連盟に届け、具体的な政策として政治の俎上に載せる必要があると話されていました。そして、その看護政策を実現するためには、政治の力が大いに必要で、看護の現場の状況を理解している看護職の代表を国会議員として国政の場に送り込み、制度化・法制化を進める必要性を挙げておられました。法制化は、その時々の時代や社会のニーズに合ったものである必要があるというお話でしたが、それはまさに、新型コロナウィルス感染の対応に日本中の医療機関が喘いでいる今のような時にこそ、そのニーズをとらえたものであるべきだと感じました。

また、このコロナ禍で医療提供がひっ迫する中、働く看護師の姿が注目されている今こそ、医療・ 看護の現状も強くアピールできるのではないかとも感じました。

コンプライアンスについては、安全な選挙活動ということで、選挙期間中の活動だけでなく政治活動中も留意が必要で、特定の候補者への投票依頼ではなく、投票に行くことを勧めることも有用であるということでした。職場では、選挙期間だけでなく日頃から、私たちが送り出した看護職の国会議員の先生方の活動内容やその成果を伝えていくことが大事であるとあらためて思いました。

研修のお話の中からは、永年、看護にそして連盟活動にお力を注いでこられた西城先生の、生き方 や働き方に対する意思の強さや優しさも伺うことができました。

その姿勢を規範とさせていただきながら、今後の活動を進めたいと思います。









和歌山県看護連盟 和歌山第一支部青年部

山本慶太

和歌山第一支部 青年部の山本です。

コロナウイルスの感染拡大が続き、各医療施設はひっ迫した状況にあるかと思います。

まだまだ先の見えない状況が続いておりますが、引き続きご尽力いただき、1 日も早い収束を願っております。

我々青年部は看護師、医療職種としてコロナ禍だからできること、について常々考えております。 なかなか対面での活動は難しく、12月8日、自由民主党県議団の方々と、オンラインにて意見交換会 を開催いたしましたので、この場を借りてご報告させていただきます。

6名の自由民主党県議団の方々と、8名の看護連盟青年部の計14名で意見交換を行いました。

意図としましては、12月現在の医療現場がどうなっているのか?また問題はどんなことがあるのか等を、議員の方々に知ってもらう。ということです。

実際の現場と議員の方々が考えている現場には大なり小なり誤差があるなと感じています。

意見交換会の内容の一部を抜粋してご紹介します!

1 医療物品不足問題

現場と議員の方の認識の差が大きく、我々も驚きました。

現場の認識

- ●やっと足りてきたけど完全ではない。
- ○マスクは毎日変えたい。
- ●ガウンや、N95 はまだ市販のもので 代用している病院もある。

議員の方々の認識

●足りている。

この認識の差は大きな問題であると感じ、議員の方々も迅速に対応していきたいというお言葉を頂くことができました。

医療物品の不足状況について県下の各施設様にご報告していただき、2020 年内に取りまとめ、議員の方々に提出させていただきました。

青年部活動報告

2 人員不足問題

多くの病院がコロナ禍となる前からの問題であげられる点はありますが、現在コロナ禍の中にあり、それにさらに拍車がかかっている。ということを、実例を挙げ伝えさせていただきました。



その他多くの内容の意見交換を行うことができ、少しでも現場の声を伝えることができました。 「看護師は現代社会において必要不可欠であり、素晴らしい仕事である」と感じています。

現場で働く中で辛いことや苦しいことなどもあるとは思いますが、それ以上の喜びや達成感、感謝 の気持ち等を感じることのできる唯一無二の仕事だと思います!

今後も継続して議員の方々との意見交換を行っていく予定です。

我々青年部は現場の生の声をより多く届け、伝えていきたいと考えておりますので、 どんな些細な事でもかまいませんので、

kangorenmei-wakayama@titan.ocn.ne.jp

までお寄せいただければ直接伝えさせて頂きます。

皆様のご健康と活躍を強く願っております。

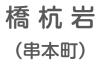


スポット紹介

青年部特集

和歌山県看護連盟 和歌山第一支部青年部部長

山本慶太





和歌山第一支部青年部の山本です。皆様いかがお過ごしでしょうか?コロナ禍の中、各病院、施設でそれぞれのスキルを遺憾なく発揮されていることかと思います。

今回は和歌山県で私が大好きなパワースポット、串本にある橋杭岩をご紹介! 行ったことがある方もいるかと思います。

写真にもあるように不思議な造形美ですよね。 なぜこのような形になったのでしょうか?

まずは概要のご紹介。

橋杭岩は全長 850m にもわたり直線状に立ち並ぶ姿が橋の杭のように見えることからその名がついたと言われています。干潮時には岩の近くまで観光することができます。

伝説

昔、弘法大師が天の邪鬼と串本から沖合い

の島まで橋をかけることが出来るか否かの賭けを行った。 弘法大師が橋の杭をほとんど作り終えたところで天の邪鬼 はこのままでは賭けに負けてしまうと思い、ニワトリの 鳴きまねをして弘法大師にもう朝が来たと勘違いさせた。 弘法大師は諦めて作りかけでその場を去った。そのため 橋の杭のみが残ったという伝説が残されています。 橋杭岩の伝説と真実について簡単に 知っておこう! ご家族やお友達に 豆知識を教えてあげてください!

実は 1500 万年ほど前の火成活動や 地質変動によりこのような造形とな りました。 **真 実**

橋杭岩に行ってみると、大きな岩がゴロゴロと転がっており、よく目を凝らしてみると、1500万年前の化石を観察することもできます! ロマンが溢れますね。



私の「コロナが落ち着いたらもう一度行きたい観光名所」の一つの ご紹介でした! コロナ禍という大変な状況ではありますが、より多く の患者様、利用者様に寄り添って行けるようご自愛くださいませ。





連盟からのお知らせ



看護連盟の活動を支えるのはあなたです。 会員一人ひとりの行動が、目的達成の原動力、 あなたの参加を期待します。



日本看護連盟は、国民の健康の守り手として働いている、保健師、助産師、看護師、 准看護師の団体です。日本看護協会の会員であれば、誰でも連盟会員になれます。

🥝 和歌山県看護連盟に あなたも入会しませんか?



和歌山県看護連盟では、令和3年度の 会員・特別会員・賛助会員の入会を受 け付けています。多数の入会をお待ちし ています。

新型コロナウイルスに誰よりも真摯に向き合い、戦い、尽力されている日々。 恐怖や不安を抱えながらも、看護を続けて下さり心から感謝申し上げます。 また、看護職の皆さんを支えておられるご家族の方々にも心から感謝申し上 げます。



広報委員一同





東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを 行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・ 研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等 での休憩時にホッと一息つきませんか?

片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を 置かせて頂いております。ご購入にも応じます。

んな所でも無料で出張サービスさせて頂きます

東洋羽毛関西販売株式会社



88-2104 お気軽に御利用ください。